



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	28,586.90	161.39	0.57	3.27	0.17	28,538.44
NASDAQ	11,579.94	158.96	1.39	4.56	29.06	8,972.60
日経225	23,619.69	-27.38	-0.12	2.56	-0.16	23,656.62
上海総合	3,272.08	54.02	1.68	1.68	7.28	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,681.14	93.75	2.04	2.04	14.27	4,096.58
ハンセン	24,119.13	-74.22	-0.31	2.81	-14.44	28,189.75
中国企業	9,617.85	-6.63	-0.07	2.35	-13.88	11,168.06

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.8%高と続伸、上海総合指数は1.7%高

香港市場ではハンセン指数は週間で2.8%高と続伸した。新型コロナに感染したトランプ米大統領の容体回復を受けて米大統領選挙や経済政策を巡る不透明感が薄れ、買い安心感が広がった。7日には約半月ぶりに終値で節目の24000ポイント台を回復したが、週後半になると利益確定売りで続落。米国が中国のスマホ決済サービスへの制裁を検討していると伝わったことも嫌気された。本土市場は8日まで国慶節の連休だったため1営業日のみの取引。上海総合指数は連休中の海外市場の上昇を受けて1.7%高と3週ぶりに反発した。

### 今週の展望:香港市場は堅調な展開か、海外市場でリスク選好の流れ強まる

香港市場は堅調な展開か。海外でリスク選好の流れが強まっていることに加え、26-29日に中国で開かれる5中全会を前に政策期待が高まっていることが追い風。今週も中国の次期5カ年計画で恩恵を受けそうな銘柄を物色する動きが続きそうだ。14日に予定されている林鄭月娥行政長官の施政方針演説にも注目が集まる。本土市場も今週は政策期待を背景に堅調な展開が予想される。景気の回復基調が続いていることを受けて企業業績も回復してきており、業績の上振れ期待も相場の支援材料となりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術 (02269)	202.60	7.42
2 瑞声科技 (02018)	44.65	6.95
3 舜宇光学科技 (02382)	125.80	6.34
4 HSBC (00005)	31.45	5.54
5 テンセント (00700)	539.50	5.47
6 碧桂园 (02007)	9.96	5.06
7 AIAグループ (01299)	79.65	4.94
8 創科実業 (00669)	106.30	4.63
9 石薬集団 (01093)	15.66	4.40
10 恒隆地産 (00101)	20.40	4.19

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サンス・チャイ (01928)	28.35	-5.03
2 九龍倉置業地産 (01997)	30.45	-3.33
3 Link REIT (00823)	61.50	-2.38
4 チャイ・コム (00762)	5.02	-0.59
5 万洲国際 (00288)	6.25	-0.48
6 中国銀行 (03988)	2.39	-0.42
7 新鴻基地産 (00016)	98.50	-0.30
8 中国工商银行 (01398)	4.01	-0.25
9 恒安国際集団 (01044)	56.15	-0.18
10 中国中信 (00267)	5.68	-0.18

## ▼今週の主なイベント

- 10月13日(火) 【中国】貿易統計(9月)
- 10月14日(水) 【香港】林鄭月娥行政長官の施政方針演説
- 10月15日(木) 【中国】CPI, PPI(9月)

## ▼今週の期待材料

- ◆中国の国慶節連休中の小売り・外食企業の売上が前年同期比4.9%増、旅行客数は前年の9割の水準まで回復
- ◆10月26-29日に中国共産党が5中全会を開催、第14次5カ年計画と35年までの長期目標について審議
- ◆中国国務院が深センの先行モデル地区総合改革案を発表、深センでデジタル人民元の実証テストも開始

## ▼今週の懸念材料

- ◆14日に林鄭月娥行政長官が施政方針演説を予定、大規模追加経済対策の発表は見送りの方針
- ◆米中対立激化への警戒感がくすぶる公算、米政府が中国のスマホ決済サービスへの規制を検討
- ◆新型コロナの世界の感染者が10日に38万人超と過去最高を更新、米国でも感染が再び拡大基調に

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国海外発展 (00688) : 9月の不動産販売額が21%増加、販売面積は横ばい
- ☆ 中国金茂 (00817) : 9月の不動産販売額が2%増加、販売面積は17%増
- ☆ 龍源電力 (00916) : 9月の発電量が7%増の358万9600MWh、1-9月は4%増
- ☆ BYD (01211) : 9月の新車販売台数が4%増加、新エネルギー車は45%増
- ☆ キングボード・ラミネート (01888) : 深セン「創業板」への上場を計画
- ☆ 万科企業 (02202) : 9月の不動産販売額が11%増加、販売面積は16%増
- ☆ 長城汽車 (02333) : 9月の新車販売台数が18%増加、1-9月は6%減少
- ☆ 舜宇光学科技 (02382) : 9月の携帯端末用レンズセット出荷量が16%増加
- ☆ 広州富力地産 (02777) : 9月の不動産販売額が24%増加、販売面積は11%増
- ★ テンセント (00700) : 米政府が中国のスマホ決済サービスへの規制を検討

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平

14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。